



## 障がい是不幸なのか？

高田中学校 二年 松尾 剛琉

「障がい」という言葉は、僕にとってマイナスのイメージだった。しかし、この考えを覆すことがあった。それは、日本で開催されたパラリンピックだ。テレビでパラリンピックに出場する選手の報道があつて、体が思うように動かさず、かわいそうなのは、すごい記録をもつ人が多かった。

その中でも僕が気になつたのは、パラカヌーの瀬立モニカ選手だ。彼女は、高校生の時に脊髄を損傷し、車椅子生活になつたそうだ。胸から下の筋肉を動かすことができず、歩くことができない。しかし、画面では、体が不自由だとはとも思えないほどすいすいとカヌーを漕いでいた。彼女は障がいを「乗り越えた」ではなく「受け入れた」と話していた。さらに、「障がいがないでも自分の力ではどうにもならないことって世の中にたくさんありますよね。」と言っていた。確かに、自分のことを考えてみると、僕は部活動の試

合で勝てないし、国語や社会が苦手、難しいなと感ずることがよくある。障がいがあるから特別に不幸なのではなく、誰にでもできることやできないことがあるのだと思つた。瀬立選手は、足が動かなくても、少しも不幸に見えない。「障がい者かわいそうだ」と思つていたのに、その考えは間違つていのように思えてきた。

しかし、前向きに生きていても、周囲からバリアーを突きつけられることがあるそうだ。レストランで「車椅子のまま席に着くことはできません。」と入店を断られたことがあつたという。そうすると、障がいは、その人ではなくその周り、社会の方にあるのかもしれない。そこで僕は考えた。障がいがあつてもなくても、誰もが自分らしく生きることができるよう、身近なところから自分のできることを探して行こう。障がいをもち人を不幸だと思ふのではなく、不便なこともある

が、共に強く生きていく「個性」と考えようと。こういう考え方が増えてくると、誰もが生きやすい世の中になるのではないだろうか。

障がいは不幸なのか？  
答えはNOだ。

### 【先生のコメント】

剛琉君は、テレビでパラカヌーの瀬立選手のことを知り、動画や新聞記事を見てさらに興味をもつようになったようです。そして、彼女らの活躍を見ていくうちに、「これまで抱いていた「障がいは不幸なのか？」という問いに「NO」とはつきり答えを出しました。

その開催に賛否両論あつたオリピック・パラリンピックですが、見ている人々に感動を与えただけでなく、大事なことに気づききっかけも作ってくれたようです。

※この作文は、松尾さんが二年生のときに書いたものです。

### 人権相談(無料)

「ひとりりで悩んでいませんか？」

#### 【人権何でも相談所】

- 日時 4月20日(水)午後1時～4時
- 場所 みやま市立図書館
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みごとなど

#### 【女性相談所】

- 日時 4月14日(木)午前10時～午後3時
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 原則として女性からの相談 ※女性の権利擁護委員が相談に応じます

#### 【常設相談】

- 時間 午前8時30分～午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談担当者 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号(TEL) 0570・003・110

#### 福岡法務局柳川支局(TEL) 72・2640



## 「JAみなみ筑後」 吉仲 睦美さん

生産者から要望や課題などを聞き、農協や行政などの関係機関に繋げて解決に向けての支援を業務としているTAC(営農渉外)。JAみなみ筑後で女性TACとして吉仲さんは働いている。 子どもたちが将来なりたい職業に『農業』をあげてもらえるように農業のイメージを作りあげていきたいと語る吉仲さん。「そのためには、農家さんたちの話を傾け、農業の視野・考え方を知ることが必要。現場の声にヒントがあるのではないかと思います」

感謝されるのがやりがい  
「これでよかったのか」と悩むこともあられるけれど、『担当になってくれてよかった』と農家さんから声をかけていただくこと、とても嬉しいです。自分が関わったことで感謝してもらえることは幸せなことですね」

### 信頼される存在に

農家と農協などのパイプ役としてもつと信頼されるようになったと語る。「そのためには、細やかな対応を心掛けていきたいです」

女性農業者のサポートもしていきたいとのこと。「気軽に相談してもらえたらと思います。みやまは女性がとても元氣。農業のイメージアップにも彼女たちの力が必要だと思っています」

吉仲さんと話していると、風光明媚なみやま市で、農業を目指す子どもたちが増えてくるのだろうとワクワクしてきた。



よしなか むつみ  
趣味は旅行、ライブに行くこと  
【座右の銘】  
自分が好きなものを好きと言うために他を貶す必要はない  
【みやまにひとこと】  
年代問わず、人があたたかいところが好きです。

## みやま文芸

### 青門瀬高俳句会

- 四方よりの風の存問麦二寸 吉岡 木骨
- 水温む雲を映して韻き合う 池田 芳水
- ウクライナを救えとしきり亀鳴けり 高巢 幸子
- 珈琲の香や玻璃ごしの陽とシクラメン 阿部 和子
- 海風壁の白秋生家柳の芽 戸塚貴美代
- 恋猫のびくりともせず昼を寝る 橋本美恵子
- 裸足にて打席に立てり春の夢 河野 辰男

### みやま短歌会

- 共に古い旅行もかなわぬ身となりて 旅番組のローカル線ゆく 三栗野ミユキ
- しぶりいし車の免許返納が 一瞬の失神で即座にきまる 中村 智美
- よろめける我を支える孫の腕 暖かくして遅しかりけり 松尾 逸央
- 風に鳴る竹林の音きれぎれに 二葉の祖母よ言葉忘れず 西村 嘉彦

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。

